

東日本大震災からの
復旧復興の状況について
～ 5年目の記録 ～

平成 28 年 3 月 1 日
一関市

東日本大震災からの復旧復興の状況について

～ 5年目の記録 ～

(平成28年3月1日)

1 施設被害の復旧状況及び主な復旧事業、復旧支援事業 1

- (1) 施設被害の復旧状況
- (2) 主な復旧事業、復旧支援事業

2 東日本大震災で明らかとなった課題とその対応

(1) 大震災で明らかとなった主な課題 2

- ① 放射性物質による汚染問題への対策
- ② 被災者の生活再建支援と災害に強いまちづくり
- ③ 近隣自治体との連携による復旧復興の推進

(2) 「災害に強いまちづくり」に向けて取り組んだ主な事業 3～5

- ① 住宅や宅地、公共施設等の耐震化、避難所の整備・充実
- ② 情報基盤の整備、情報伝達手段の構築
- ③ 危機管理の充実・強化
- ④ 自主防災組織の充実、防災対策の構築
- ⑤ 災害時応援協定等の締結（東日本大震災以降）

(3) 残された課題に対する取組 6

- ① 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による汚染問題
- ② 沿岸津波被災地への支援

3 沿岸津波被災地等への後方支援 7～11

4 主な統計数値等でみる東日本大震災後の動き 12～17

- (1) 総人口
- (2) 農業
 - ① 農産物生産販売実績
 - ② 農家数
 - ③ 普通作物収穫量
- (3) 工業
 - ① 製造品出荷額等
 - ② 従業者数
 - ③ 事業所数
- (4) 商業
 - ① 年間商品販売額
 - ② 従業者数
 - ③ 事業所数
- (5) 運輸・観光
 - ① JR駅利用状況（乗車人員）
 - ② 東北自動車道一関インターチェンジ利用状況
 - ③ 観光レクリエーション客入込数（全体）の推移
- (6) 建設・労働
 - ① 新設住宅着工戸数
 - ② 一関公共職業安定所の有効求人倍率の推移
- (7) 避難者の推移（避難元（出身）市町村別）

5 年表（平成23年3月～平成28年2月）

18～23

1 施設被害の復旧状況及び主な復旧事業、復旧支援事業

(1) 施設被害の復旧状況

平成23年度から平成25年度までに取り組んだ復旧に要した費用

東日本大震災による施設被害の復旧工事については、平成25年度までの間に概ね完了している。

分野	復旧に要した費用 (千円)	主な内容
①農地・農業施設被害	2,785,131	農地 1,167件、ため池・水路等 1,242件、 農業施設(民間農業施設含む) 80件
②林業関係施設被害	108,512	林道等 200件
③農作物、家畜等被害	380,416	野菜施設被害、酪農家、肥育農家、農場等
④土木、都市施設被害	3,242,079	河川、道路、水道施設等 2,176件
⑤学校施設被害	791,788	幼稚園、小中学校等 75件
⑥社会教育施設等被害	810,760	社会教育施設 38件、体育施設 52件、文化施設 4件
⑦社会福祉施設等被害	420,720	老人福祉施設等 48件、保育園等 33件
⑧観光施設被害	309,581	45件
⑨その他被害	1,975,322	公営住宅、庁舎、情報通信施設、文化財等(民間等の住宅等を除く)
合計	10,824,309	

(1)の復旧に要した経費には災害復旧費(11款)と通常予算で対応した経費、及び、①③⑦には民間施設等の復旧費が含まれている。

(2) 主な復旧事業、復旧支援事業

平成23年度から平成27年度(平成23年度から平成26年度は決算額、平成27年度は予算額)

公共施設等の復旧事業を推進するとともに、民間における復旧工事等を促進するため、資金貸付や利子補給等の復旧支援事業に取り組んだ。

事業名	事業費(千円)	主な内容
①農林施設災害復旧費	2,410,140	市民生活の早期安定化に向け、未復旧施設等を早急に復旧
②公共土木施設災害復旧費	3,247,577	
③文教施設災害復旧費	1,581,941	
④その他公共施設等災害復旧費	437,978	
⑤特定鉱害復旧事業	66,716	亜炭鉱採掘跡の陥没被害の復旧
⑥山目小学校校舎改築事業	2,030,468	被災した山目小学校の改築
⑦自家用水道施設災害復旧工事補助金	201,421	被害を受けた自家水道施設の復旧費用に対する補助
⑧災害援護資金貸付金	108,390	被災世帯の生活の立て直しに資するための貸付
⑨災害復旧資金利子・保証料補給補助金	643,123	被災した企業が借入した災害復旧資金の利子や保証料を補助
⑩生活再建住宅等支援事業	1,783,514	被災した宅地等の早期復旧を支援
⑪被災者住宅再建支援事業補助金	223,500	
⑫被災住宅復旧資金利子補給補助金	22,973	自宅が全壊等の被害を受け、新たなに住宅を建築、購入する場合の補助
⑬災害公営住宅整備事業	704,376	住宅を失い自力再建が困難な方々の居住の安定を確保
⑭東日本大震災沿岸支援費	13,902	被災者入居用住宅の各種支援
合計	13,476,019	

(2)の①～④については災害復旧費(11款)で対応した事業費(災害復旧に要した事務費等含む)を記載している。

2 東日本大震災で明らかとなった課題とその対応

当市は、平成 20 年の岩手・宮城内陸地震、平成 23 年の東日本大震災により、立て続けに甚大な地震被害を受けた。

この二つの大震災を通じて明らかとなった課題を整理、検討し、「災害に強いまちづくり」の実現に向けて、必要な対策に取り組んでいるところであるが、未だに対応が図られていない「残された課題」に対しては、一日も早い解決に向けて取組を進めることとしている。

(1) 大震災で明らかとなった主な課題

明らかとなった課題		左への対応
①放射性物質による汚染問題への対策		
ア 放射性物質による汚染への対応	国内初の原子力発電所事故により、放射能汚染被害が広域的に発生し、当市においても長期にわたる対応が必要となった。	・残された課題に対する取組① (※5頁)
②被災者の生活再建支援と災害に強いまちづくり		
ア 被災者の生活再建支援	住家等の被害により、長期的に避難所や仮設住宅で生活しなければならなくなった方への、生活再建の支援が必要となった。	・復旧支援事業の実施 (※1頁1の(2)復旧支援事業)
イ 公共施設や住宅の耐震化、避難所運営・管理	公共施設の被害により、避難所として使用できない施設があった。また、ライフラインの寸断が同時多発的に発生し、避難所の対応や運営に苦慮した。 4,158棟の家屋被害が発生した。	・住宅や宅地、公共施設等の耐震化(※3頁①) ・避難所の整備充実(※3頁①)
ウ 情報収集・伝達、広報活動	停電により、情報入手手段や通信手段が制限され、重層的な情報通信手段の強靱化が必要となった。	・情報基盤の整備(※3頁②) ・情報伝達手段の構築(※3頁②)
エ ライフラインの強靱化、危機管理	ライフラインの寸断により、市民生活が広域的、長期的に混乱した。 ライフラインの強靱化の必要性が明らかとなった。	・危機管理の充実・強化(※4頁③) ・災害時応援協定等の締結(※5頁以降⑤)
オ 地域との連携	様々な面で行政だけでの対応には限界があり、地域コミュニティの重要さや連携が必要となった。	・自主防災組織の充実(※4頁④) ・防災体制の構築(※4頁④)
③近隣自治体との連携による復旧復興の推進		
ア 市域や県境を越えた連携	災害時への相互応援という範疇を超え、自治体の垣根を超えた長期的かつ広域的な支援が必要となった。	・残された課題に対する取組② (※5頁)

(2) 「災害に強いまちづくり」に向けて取り組んだ主な事業

平成23年度から平成27年度（平成23年度～平成26年度は決算額、平成27年度は予算額）

東日本大震災で明らかとなった課題に対応し、「災害に強いまちづくり」の実現に向けて各種事業を進めてきた。

①住宅や宅地、公共施設等の耐震化、避難所の整備・充実

事業名	事業費（千円）	主な内容
教育施設等耐震化	1,167,484	防災拠点となる消防署等の整備、耐震化等を推進
防災拠点の整備・耐震化	1,441,361	
木造住宅耐震診断事業	9,761	木造住宅（昭和56年以前に建築）の耐震化を支援
木造住宅耐震改修工事助成事業補助金	58,750	
橋梁長寿命化事業	504,947	橋梁の長寿命化のための調査と修繕の実施
避難所標識設置工事	299	避難所への標識設置により防災施設であることを周知
常備消防車両整備事業	417,025	消防車両の更新
防犯灯維持管理事業	301,939	市管理の防犯灯のLED化
急傾斜地崩壊対策事業負担金	57,460	県が実施する土砂災害防止事業に対する負担金
道路インフラ長寿命化事業	5,000	道路インフラの長寿命化のための調査と修繕の実施
合計	3,964,026	

②情報基盤の整備、情報伝達手段の構築

事業名	事業費（千円）	主な内容
コミュニティFM情報配信事業 (中継局追加整備)	883,825	災害時の安定した、情報伝達手段の構築
防災行政情報システム整備事業	1,835,730	
消防救急無線デジタル化推進事業	23,201	
移動系防災行政無線整備事業	141,857	
消防団無線整備事業	34,064	
合計	2,918,677	

③危機管理の充実・強化

事業名	事業費 (千円)	主な内容
非常用発電機整備事業	109,302	市が所有するすべての指定避難所に発電機を配備
飲料水兼用耐震性貯水槽整備事業	94,644	移転した一関図書館、一関保健センター等敷地にマンホールトイレを整備
災害用マンホールトイレ整備事業	13,558	
空き家等実態調査事業	3,953	空き屋の実態を把握するための調査
防火水槽整備事業	194,993	段階的に防火水槽を整備
災害用特設公衆電話設置事業	293	災害時の避難所等で市民が使用する特設公衆電話の回線工事、電話機の購入
山岳救助資機材整備事業	1,713	山岳事故等において、より安全で迅速な救助を行うための資機材の整備
災害救助用ボート更新事業	3,240	北上川交流センターに配備している災害・水害用救助艇の更新
災害救助用小型船舶整備事業	1,668	災害、水害用小型船舶を配備
釣山防火用水路補修事業	7,150	用水路の補修工事
合計	430,514	

④自主防災組織の充実、防災体制の構築

事業名	事業費 (千円)	主な内容
自主防災組織活動助成金	61,021	防災用資器材の購入費用等を助成
命をつなぐプロジェクト事業	13,246	すべての中学校に心肺蘇生法学習教材等を配置
「となりきんじょ防災会議の日」制定・普及事業	332	家庭や近所、職場などで防災について話し合う日として制定
防災知識の普及啓発事業	2,310	災害時の備えや対処法等の情報が掲載された冊子の全戸配布
自主防災組織育成事業	10,326	自主防災組織の結成及び活動を支援し、自主防災組織のリーダーを育成
一関市防犯協会連絡協議会補助金 (地域防犯協会活動費補助金分)	20,631	各地区の防犯活動に対する補助
土砂災害ハザードマップ作成事業	13,691	土砂災害ハザードマップを作成し、警戒危機を市民に周知
消防団運営事業 (消防団員雨衣整備分)	13,389	消防団員に貸与する装備品に雨衣を追加配備
高齢者防火出前講座事業	536	老人クラブ、介護予防教室など高齢者を対象とした火災予防の出前講座を開催
避難行動要支援者支援事業	220	避難行動要支援者の地域による見守りと避難支援の推進
水防訓練事業	3,307	水防に対する意識啓発を図る
北上川上流水防演習事業	2,840	東北6県で開催される水防演習 (平成27年度は盛岡市で開催)
合計	141,849	

⑤災害時応援協定等の締結（東日本大震災以降）

協定内容	相手方	協定年月日
火災、地震等の災害時における消防活動応援に関する協定書	岩手県南生コン業協同組合	平成24年3月23日
災害時における応急食糧等の確保に関する協定書	協同組合産直センターひがしやま	平成24年8月9日
災害時における応急対策業務に関する協定	一関測量設計業協会	平成25年3月11日
災害時における応急対策業務に関する協定書	社団法人岩手県建築士会一関支部・千厩支部	平成25年3月11日
災害時における緊急放送に関する協定書	株式会社一関ケーブルネットワーク	平成25年12月1日
災害時における緊急放送に関する協定書	一関コミュニティFM株式会社	平成25年12月1日
災害に係る情報発信等に関する協定	ヤフー株式会社	平成26年10月1日
災害時における応急食料等の確保及び災害情報の提供に関する協定	いわいの里クオリティフードグループ (株オヤマ、(株)高田ポトリー、(株)須藤食品、花泉味噌醤油(株)、ヒルトップ)	平成27年2月3日
災害時における飲料の確保に関する協定	みちのくコカ・コーラボトリング株式会社	平成27年9月24日

(3) 残された課題に対する取組

①東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による汚染問題

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による汚染問題は最重要課題であり、原発事故前の環境を取り戻すため、市民の安全安心に向けた対策に引き続き取り組む。

- ア 農林業の生産基盤の再生
- イ 側溝土砂の除去
- ウ 汚染された牧草などの一時保管と処分
- エ 風評被害の払拭
- オ 東京電力に対する損害賠償請求

②沿岸津波被災地への支援

沿岸被災地では、今もなお多くの課題を抱えており、震災前の市民生活の基盤と安全安心を取り戻すこと、沿岸津波被災地との日常生活や経済面での交流を活発にするため、今後とも近助の精神のもと、後方支援を継続する。

- ア 職員派遣の継続
- イ 沿岸被災地を当市を結ぶ路線整備（新笹ノ田トンネルの実現への取組等）

3 沿岸津波被災地等への後方支援

平成28年1月31日（日）までの状況

沿岸津波被災地は、今もなお多くの課題を抱えており、今後も「近助」の精神のもと後方支援を継続していく。

(1) 陸前高田市への後方支援

- ① 救助隊派遣、行方不明者の捜索
- ② 避難所への避難者受け入れ
- ③ 避難住民の健康診査、投薬、搬送
- ④ 救援物資の提供・輸送、中継基地の管理
- ⑤ 炊き出しの提供
- ⑥ 現地駐在職員を配置
- ⑦ 事務用品の提供
- ⑧ 県外からの医療応援チームの宿舎提供
- ⑨ 避難所巡回バスの提供〔平泉町、藤沢町（当時）と共同実施〕
- ⑩ 避難住民に対する入浴サービス（送迎付き）
- ⑪ 公用車の提供（平泉町と共同実施）
- ⑫ 保健活動
- ⑬ 一関・平泉・藤沢合同支援本部（当時）の立ち上げ〔平成23年3月28日〕
- ⑭ 市内宿泊施設への被災者受け入れ
- ⑮ 陸前高田市の広報を当市のホームページに掲載
- ⑯ 学校間支援の枠組みの構築と推進の支援〔平泉町・藤沢町（当時）との共同実施〕
- ⑰ 公営住宅（雇用促進住宅・市営住宅・国家公務員宿舎）、みなし仮設住宅（民間賃貸住宅）への避難者の受け入れ
- ⑱ 文化財レスキューの実施
- ⑲ 障がい者相談支援センターへの職員派遣
- ⑳ がんばろうバッジ、のぼりの製作
- ㉑ 積載車、小型動力ポンプを貸し出し
- ㉒ 陸前高田市のホームページを当市のサーバーで運用
- ㉓ 職員派遣（年間11人）
- ㉔ 要介護者の受け入れ
- ㉕ 県立病院などからの退院支援
- ㉖ 名古屋市行政支援の後方支援
- ㉗ 一関市災害ボランティアセンターとの共催による市民ボランティア募集及び派遣バス運行
- ㉘ 陸前高田市支援室を設置〔平成23年5月23日〕
- ㉙ 被災校への活動場所の提供
- ㉚ 市立博物館所蔵の被災昆虫標本採集記録ラベルの洗浄保存
- ㉛ 陸前高田市の広報を同市からの市内避難者へ郵送
- ㉜ 給水車派遣
- ㉝ 陸前高田市被災企業支援
- ㉞ 被災避難者を祭り等へ招待
- ㉟ 被災地企業支援事業の実施

- ③⑥ 測量機材の提供
- ③⑦ 防災ラジオの配布
- ③⑧ 避難者検（健）診の実施
- ③⑨ ポスター「近助」の印刷・配布
- ④⑩ 仮設住宅入居者との交流
- ④⑪ 被災拓本資料の一時保管
- ④⑫ 草刈作業の実施
- ④⑬ 被災地小学生との交流促進
- ④⑭ 沿岸被災者等への高齢者福祉乗車券交付
- ④⑮ 小学生を主体とした交流
- ④⑯ 仮設住宅における物産等イベントの実施
- ④⑰ 新築家屋の評価支援
- ④⑱ “ふるさとの記憶”失われた街模型復元プロジェクト展の開催
- ④⑲ 移動市長室における「被災者等との懇談会」の開催

(2) 気仙沼市への後方支援

- ① 給水車派遣〔藤沢町（当時）と共同実施〕及び給水活動
- ② 救援物資の提供・輸送、中継基地の管理
- ③ 炊き出しの提供
- ④ 人工透析患者の受け入れ
- ⑤ 現地駐在職員を配置
- ⑥ 災害対策専門官を現地に配置
- ⑦ 事務用品の提供
- ⑧ 避難所における医療活動
- ⑨ 避難所への避難者受け入れ
- ⑩ 県外からの医療応援チームの宿舎提供
- ⑪ 避難住民に対する入浴サービス（送迎付き）
- ⑫ 一関・平泉・藤沢合同支援本部（当時）の立ち上げ〔平成23年3月28日〕
- ⑬ 気仙沼市内病院間巡回バスの運行〔藤沢町（当時）と共同実施〕
- ⑭ 気仙沼市の広報、市民向けお知らせ情報を当市のホームページに掲載
- ⑮ 夜間警ら活動のため消防団を派遣
- ⑯ 学校間支援の枠組みの構築と推進の支援〔平泉町・藤沢町（当時）との共同実施〕
- ⑰ 気仙沼市支援室を設置〔平成23年4月1日〕
- ⑱ 避難所巡回バスの提供〔平泉町、藤沢町（当時）と共同実施〕
- ⑲ 公営住宅（雇用促進住宅・市営住宅・国家公務員宿舎）、みなし仮設住宅（民間賃貸住宅）への避難者の受け入れ
- ⑳ がんばろうバッジ、のぼりの製作
- ㉑ ボランティア団体の宿泊場所及び入浴施設の提供
- ㉒ 自衛隊宿営地の提供
- ㉓ 本吉地区の避難者を受け入れ（二次避難場所として津谷川へ）
- ㉔ 市内避難者への保健活動
- ㉕ 気仙沼市の広報を同市からの市内避難者へ郵送
- ㉖ 要介護者等の受け入れ
- ㉗ 県立病院などからの退院支援
- ㉘ 気仙沼市の仮設住宅建設用地を提供
- ㉙ 被災地企業の支援
- ㉚ 慰霊祭送迎バスの運行
- ㉛ 職員派遣（年間2人）
- ㉜ 防災ラジオの配布
- ㉝ ポスター「近助」の印刷・配布
- ㉞ 宮城県のテレビ放送の視聴環境の設備
- ㉟ 学校教育における活動場所の提供
- ㊱ 被災地小学生との交流促進
- ㊲ 仮設住宅入居者との交流
- ㊳ 沿岸被災者等への高齢者福祉乗車券交付
- ㊴ 仮設住宅においての物産等イベントの実施
- ㊵ “ふるさとの記憶”失われた街模型復元プロジェクト展の開催
- ㊶ 移動市長室における「被災者等との懇談会」の開催

(3) 大船渡市への後方支援

- ① 県立大船渡病院からの患者受け入れ
- ② 大船渡市内の特養施設からの要介護者受け入れ
- ③ 公営住宅（雇用促進住宅・市営住宅・国家公務員宿舎）、みなし仮設住宅（民間賃貸住宅）への避難者の受け入れ
- ④ 要介護者の受け入れ
- ⑤ 県立病院などからの退院支援
- ⑥ 給水車派遣
- ⑦ 大船渡市の広報を同市からの市内避難者へ郵送
- ⑧ 防災ラジオの配布
- ⑨ 市内避難者への保健活動
- ⑩ 沿岸被災者等への高齢者福祉乗車券交付
- ⑪ 仮設住宅においての物産等イベントの実施
- ⑫ “ふるさとの記憶” 失われた街模型復元プロジェクト展の開催

(4) 前記以外の後方支援

- ① 南相馬市、南三陸町からの避難者受け入れ
- ② 震災相談総合窓口を設置〔平成23年5月23日〕
- ③ 被災による死亡者の火葬受け入れ
- ④ 公営住宅（雇用促進住宅・市営住宅・国家公務員宿舎）、みなし仮設住宅（民間賃貸住宅）への避難者の受け入れ
- ⑤ 要介護者の受け入れ
- ⑥ 特別雇用相談窓口を設置
- ⑦ 南三陸町、大槌町、石巻市からの市内避難者へ避難元の広報を郵送
- ⑧ ボランティアの宿泊拠点施設を設置
- ⑨ 沿岸被災地の廃棄物を処理
- ⑩ 被災地企業支援事業の実施
- ⑪ し尿処理施設用「種汚泥」の提供
- ⑫ 防災ラジオの配布
- ⑬ ポスター「近助」の印刷・配布
- ⑭ 宮城県のテレビ放送の視聴環境の整備
- ⑮ 市内避難者への保健活動
- ⑯ 沿岸被災者等への高齢者福祉乗車券交付
- ⑰ 仮設住宅においての物産等イベントの実施
- ⑱ “ふるさとの記憶” 失われた街模型復元プロジェクト展の開催

◎ 職員現地派遣

各種支援のため、職員を派遣。(H23. 3. 11～H28. 1. 31 の実績 延 24, 037 人)

- | | | | |
|---------|-------------|--------|------------|
| ○ 陸前高田市 | 延 20, 406 人 | ○ 気仙沼市 | 延 3, 562 人 |
| ○ 大船渡市 | 延 61 人 | ○ 南三陸町 | 延 8 人 |

◎ 沿岸被災地等からの市内避難者の状況

陸前高田市、気仙沼市、その他(県内、宮城及び福島県内)からの仮設住宅、雇用促進住宅、民間賃貸住宅、個人宅への避難者の状況。(H28. 1. 31 現在 514 世帯 1, 055 人)

- | | | | | | |
|---------|-------|-------|--------|--------|-------|
| ○ 陸前高田市 | 66 世帯 | 139 人 | ○ 気仙沼市 | 360 世帯 | 713 人 |
| ○ その他 | 88 世帯 | 203 人 | | | |

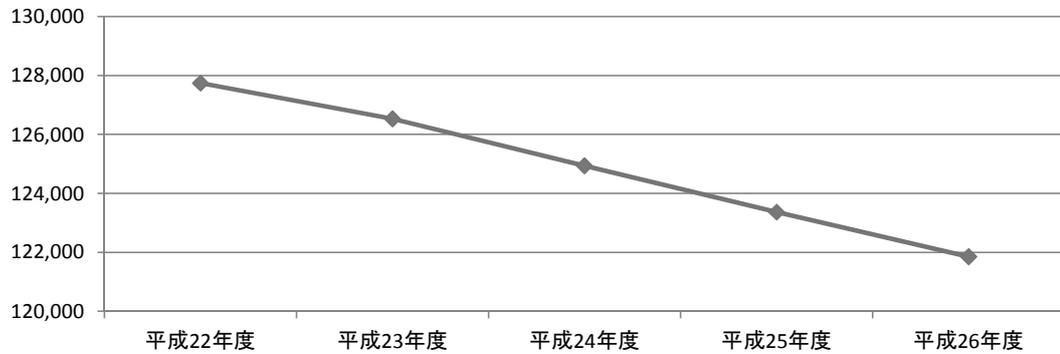
4 主な統計数値等でみる東日本大震災後の動き

東日本大震の発生前と現在では、人口や農業、商工業等の産業活動を示す統計数値がどのように変化しているのかを参考資料としてとりまとめた。

(1) 総人口

(人)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
127,742	126,532	124,936	123,367	121,858

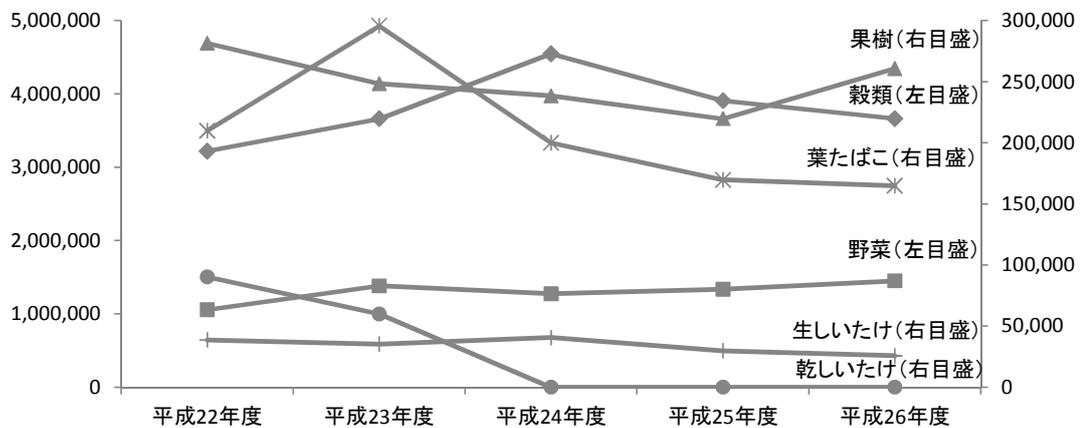


(2) 農業

① 農産物生産販売実績

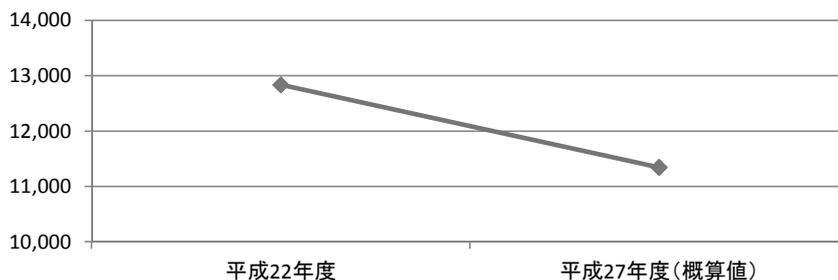
(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
穀類	3,219,994	3,662,151	4,548,343	3,909,509	3,663,072
野菜	1,056,997	1,381,485	1,273,648	1,336,927	1,449,336
果樹	281,483	248,463	238,376	219,745	260,817
花き	505,887	563,712	519,921	463,299	473,109
葉たばこ	209,852	295,794	199,962	169,698	164,870
乾しいたけ	90,234	60,047	0	0	0
生しいたけ	38,663	35,147	40,589	29,707	25,747



② 農家数

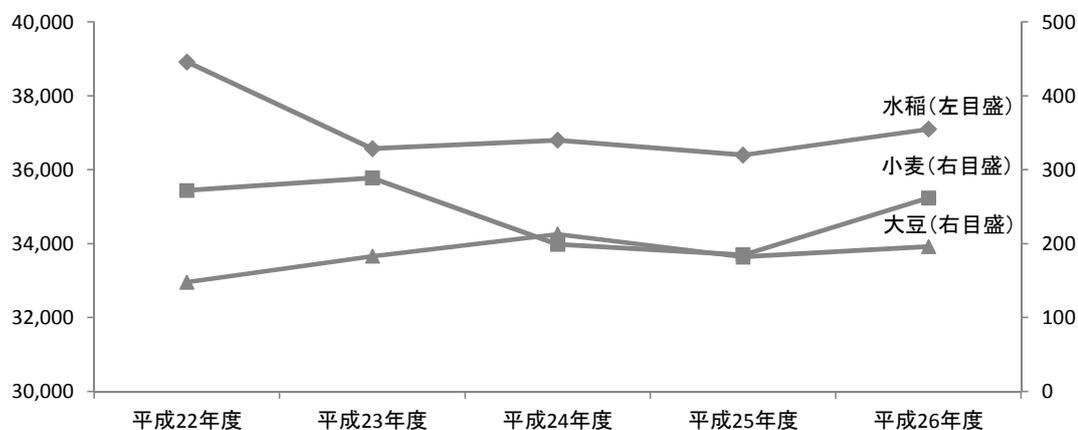
平成22年度	平成27年度 (概算値)
12,838	11,349



③ 普通作物収穫量

(t)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
水稻	38,920	36,570	36,800	36,400	37,100
小麦	272	289	199	185	262
大豆	148	183	213	182	196

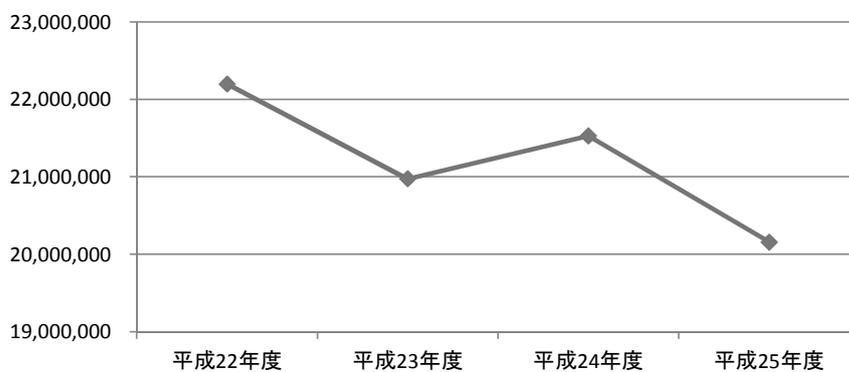


(3) 工業

① 製造品出荷額等

(万円)

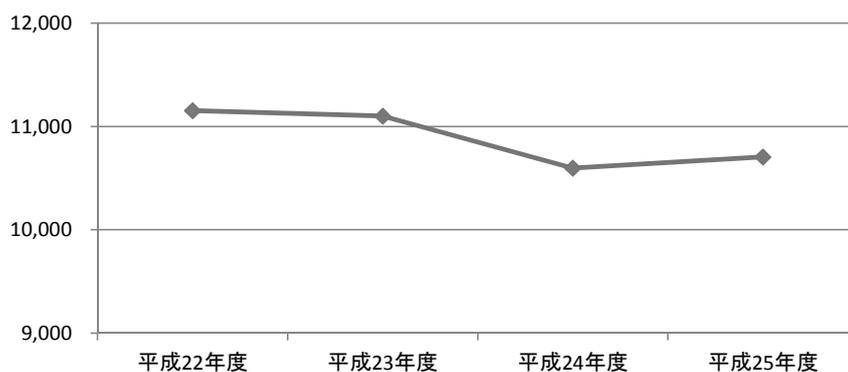
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
22,199,879	20,974,330	21,529,132	20,159,479



② 従業者数

(人)

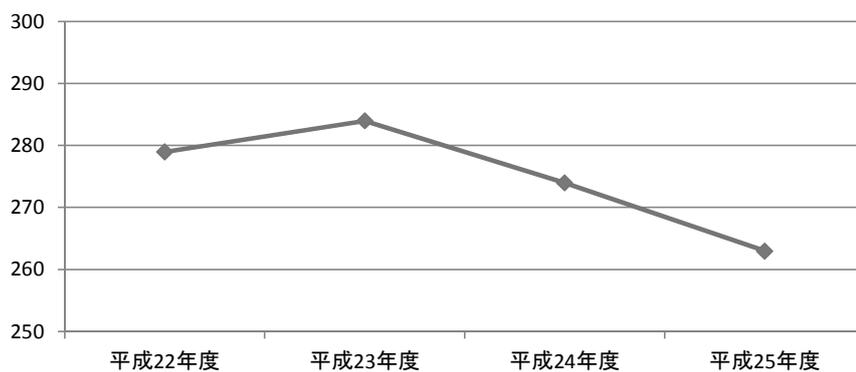
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
11,154	11,100	10,596	10,704



③ 事業所数

(事業所)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
279	284	274	263

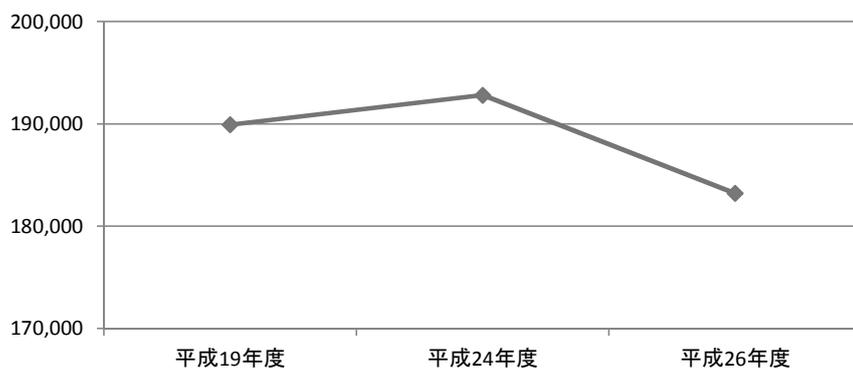


(4) 商業

① 年間商品販売額

(百万円)

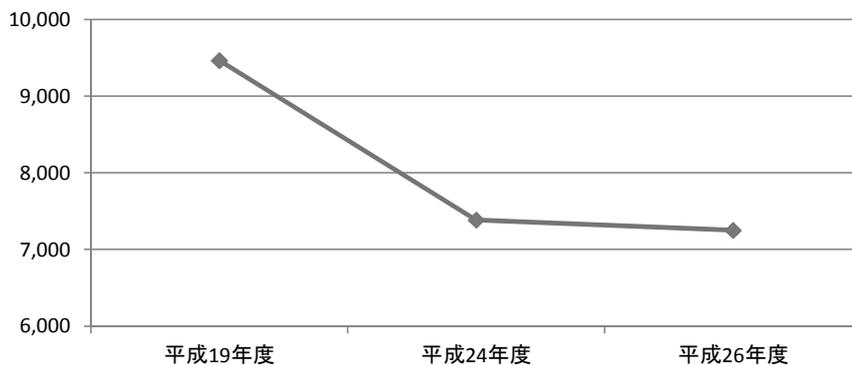
平成19年度	平成24年度	平成26年度
189,915	192,814	183,215



② 従業者数

(人)

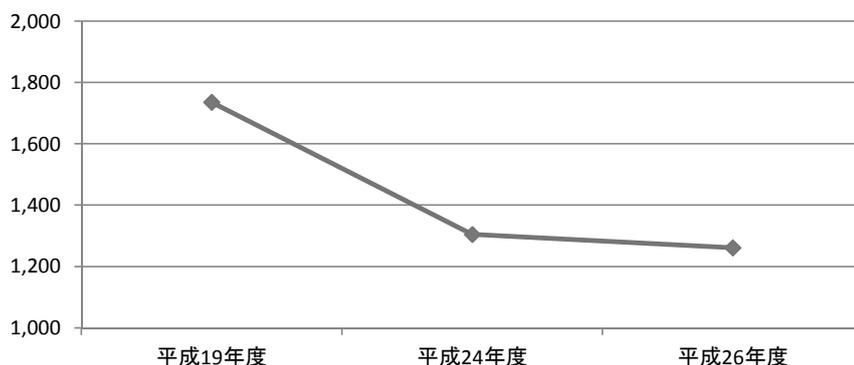
平成19年度	平成24年度	平成26年度
9,465	7,383	7,251



③ 事業所数

(事業所)

平成19年度	平成24年度	平成26年度
1,736	1,305	1,261

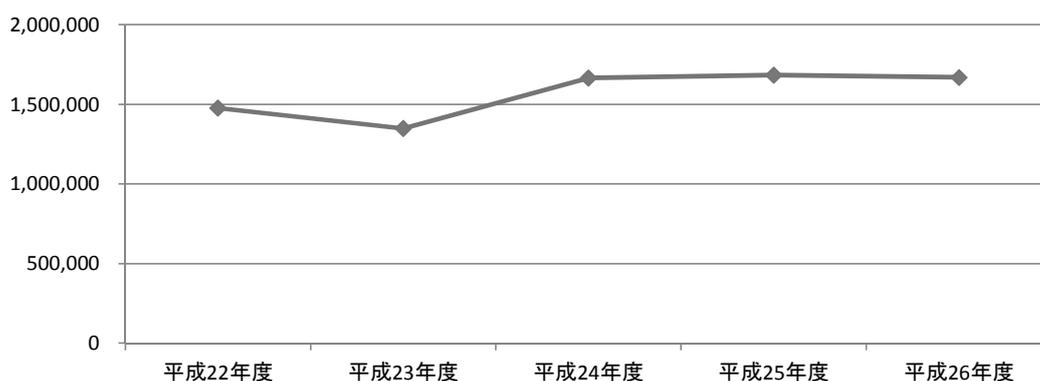


(5) 運輸・観光

① JR駅利用状況(乗車人員)

(人)

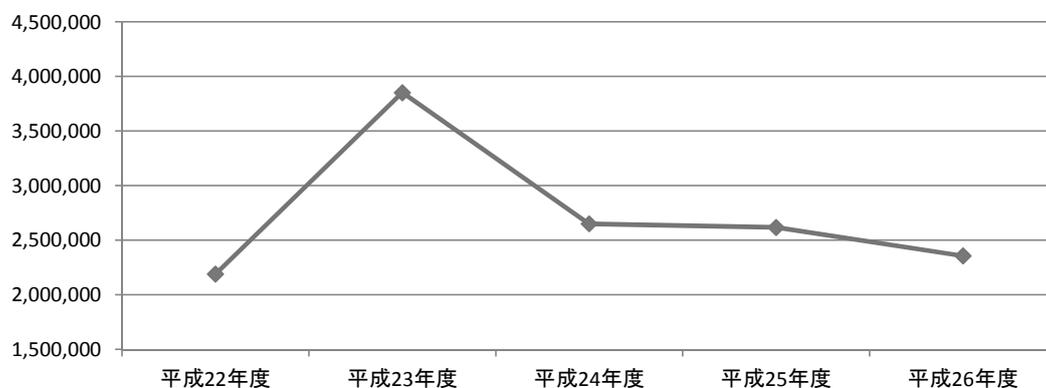
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1,477,944	1,350,024	1,665,282	1,684,327	1,669,608



② 東北自動車道一関インターチェンジ利用状況

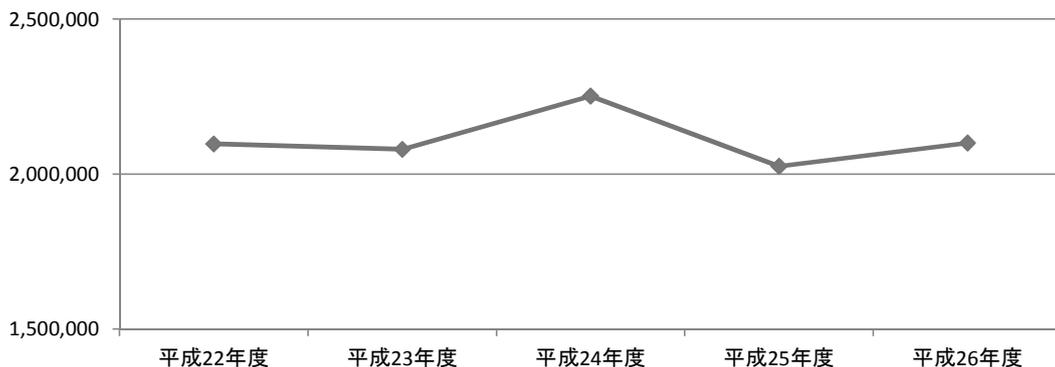
(台)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
2,190,925	3,852,674	2,650,520	2,617,407	2,356,692



③ 観光レクリエーション客入込数（全体）の推移 (人)

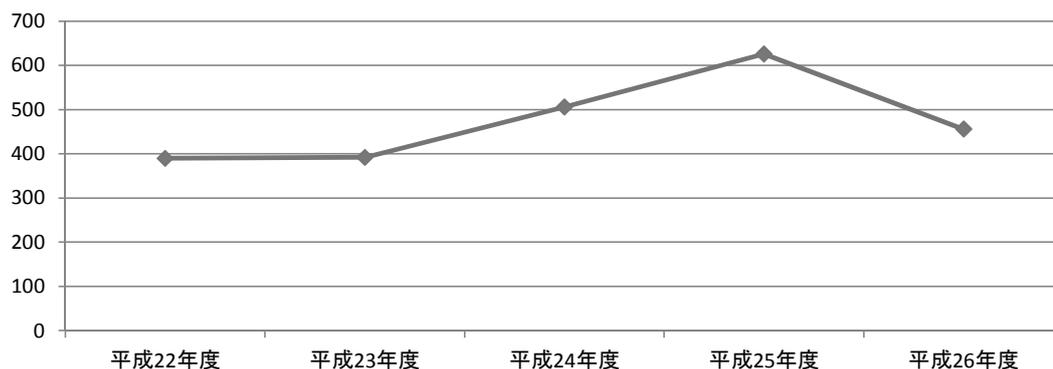
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
2,097,206	2,080,200	2,252,083	2,025,587	2,101,016



(6) 建設・労働

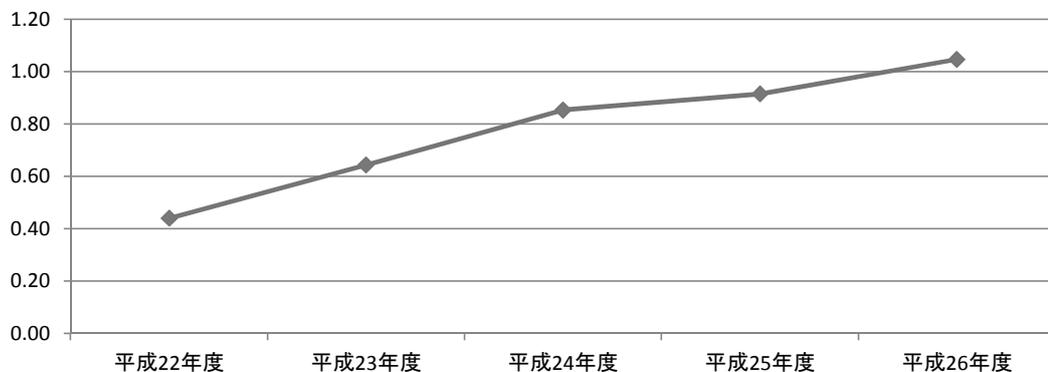
① 新設住宅着工戸数 (戸)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
390	392	506	626	456

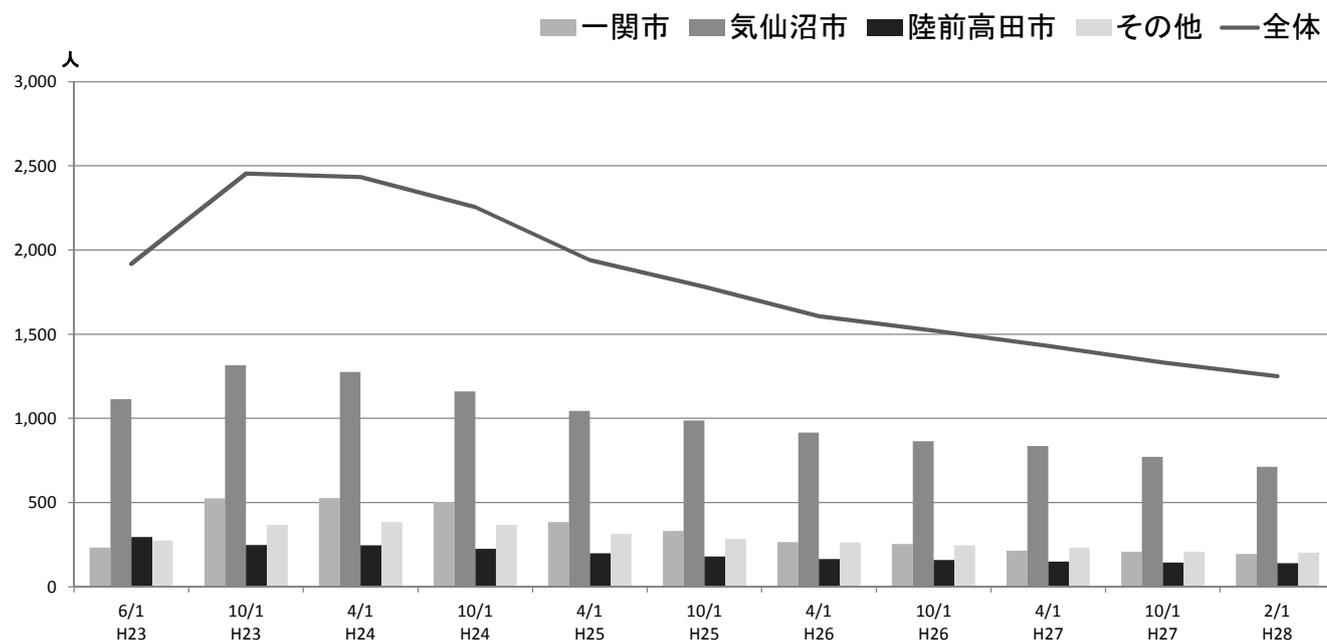


② 一関公共職業安定所の有効求人倍率の推移 (%)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
0.44	0.64	0.85	0.91	1.05



(7) 避難者数の推移（避難元（出身）市町村別）



避難元（出身） 市町村		H23		H24		H25		H26		H27		H28
		6/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1	2/1
全体		1,917	2,454	2,433	2,254	1,940	1,781	1,607	1,522	1,430	1,331	1,250
内訳	一関市	232	524	526	503	384	331	264	254	213	208	195
	気仙沼市	1,115	1,316	1,276	1,159	1,044	987	916	864	836	772	713
	陸前高田市	296	247	246	225	198	180	164	158	149	143	139
	その他	274	367	385	367	314	283	263	246	232	208	203

5 年表（平成23年3月～平成28年2月）

年月	主な出来事
H23年	3月 <ul style="list-style-type: none"> ・3/11 東日本大震災 ・東北地方太平洋沖地震（M9・最大震度7）が発生、地震及び高さ10m以上の大津波により、死者・行方不明者は2万人以上 ・東北地方太平洋沖地震による強い揺れや津波被害の影響で福島第一原子力発電所（東京電力）にて深刻な原子力事故が発生 ・3/15 停電、市内全域で解消 ・3/23 水道、市内全域で復旧 ・3/30 東北地方太平洋沖地震被災対策一関市・平泉町・藤沢町合同支援本部設置
	4月 <ul style="list-style-type: none"> ・4/1 陸前高田市へ職員派遣スタート ・4/7 最大余震（M7.1・最大震度6弱）が発生、再び停電・断水に襲われた。本震を超える数の住家被害が発生。 ・4/30 「元気です！一関・平泉」歓迎イベント開催 ・国際医療福祉専門学校一関校開校 ・医学奨学金制度スタート ・統一地方選施行 ・東京電力福島第一原発事故の国際評価をレベル7に引き上げ。旧ソ連・チェルノブイリ原発事故と同レベル評価。
	6月 <ul style="list-style-type: none"> ・平泉の歴史的建造物群がユネスコ世界遺産登録
	7月 <ul style="list-style-type: none"> ・7/7 「ゆっくりひとめぐり」連絡協議会議発足 ・7/10 骨寺村荘園交流館若神子亭オープン ・7/12 与謝野経済財政担当相ILC本県立地支援表明 ・7/16 京津畑交流館「山がっこ」オープン ・7/20 放射線汚染牛の出荷判明（一関市） ・地上アナログテレビ放送が停波し、地上デジタル放送に完全移行（被災3県を除く）
	8月 <ul style="list-style-type: none"> ・8/9 イチ、ニのサン！元気な東北市長対談会 ・8/9 国道342号（巖美下真坂）再開通 ・8/13 大東中 第11回全日本中学生男女ソフトボール大会出場（16強入り） ・8/25 本県肉牛の出荷停止解除 ・気仙沼市仮設住宅設置（室根、千厩） ・7月から9月にかけて「電力使用制限令」により大口需要家の使用電力を15%制限
	9月 <ul style="list-style-type: none"> ・9/14 平泉ナンバー実現署名開始 ・9/26 東磐井郡藤沢町を編入 人口、面積県内第二の規模へ
	10月 <ul style="list-style-type: none"> ・10/5 栗原産業 一関流通工業団地へ立地発表 ・10/18 汚染牧草試験焼却 大東清掃センター ・仮設住宅に宮城の放送視聴を実現 ・一関地域中心市街地ゾーニング構想策定
	11月 <ul style="list-style-type: none"> ・11/13 藤沢町との合併に伴う市議会議員増員選挙 ・11/19 豪セントラルハイランズ市と姉妹都市提携 ・11/20 一関市・藤沢町合併記念式典 ・11/22 第20回全国夫婦岩サミット開催 ・11/29 国道342号花泉バイパス部分開通
	12月 <ul style="list-style-type: none"> ・須川牧場除染開始 ・12/6 川崎中新校舎供用開始 ・12/13 給食食材の放射性物質測定開始 ・12/19 放射性物質汚染重点調査地域に指定 ・12/22 東京電力 緊急申し入れに対する回答
	H24年
2月 <ul style="list-style-type: none"> ・産直販売の農産物に関し放射性物質測定開始 ・2/10 復興庁発足 ・2/13 世界遺産条約採択40周年開幕記念行事 ・2/14 干しいたけから国の暫定基準値を超える放射性セシウム検出 県から出荷自粛要請 ・2/15 県南広域振興圏国際リニアコライダー関係市町村等情報交換会設置 ・一関市総合計画後期基本計画策定 ・第2次いちのせき男女共同参画プラン策定 	
3月 <ul style="list-style-type: none"> ・3/12 花泉地域で市営バス運行開始 ・3/14 ご当地ナンバー追加導入方針示される ・3/14 柳田運輸 一関市への立地発表 ・3/18 東北観光博開幕 ・3/27 平泉ナンバー署名12万人超 国交省提出 ・3/28 市道矢ノ目沢金沢線全線開通 	
4月 <ul style="list-style-type: none"> ・4/1 陸前高田市へ12人（前年より1人増）、気仙沼市へ2人職員派遣 ・4/1 一関市社会福祉協議会、藤沢町社会福祉協議会合併 ・4/26 富士通ゼネラル新工場建設表明（H25年4月完成予定） ・4/27 岩手県国際リニアコライダー推進協議会設立 ・4/29 一関コミュニティFM開局（「FMあすも」） ・障がい者福祉計画、高齢者福祉計画策定 ・室根高原牧野除染開始 	

年月	主な出来事
H24年	5月 <ul style="list-style-type: none"> 5/14 法務局一関支局業務再開 5/17 京津畑自治会 農林水産省優良事例受賞 5/17 タケヒロ東北新工場竣工、ハヤテレ東北開所 5/22 保育施設等除染作業開始 5/24 除染実施計画 国が承認 「広報いちのせき」全国広報コンクール入選
	6月 <ul style="list-style-type: none"> 6/10 高校新卒者「全員就職」達成 6/12 汚染堆肥保管施設完成 6/30 一関水泳プール利用開始
	7月 <ul style="list-style-type: none"> 7/4 世界防災閣僚会議、一関で分科会（市の後方支援活動についてプレゼンテーション） 7/10 東北ILC推進協議会発足 7/12 世界遺産暫定リストに骨寺村荘園遺跡記載 7/13 一関高等看護学院新校舎完成 新一関図書館、花泉図書館建設着手 ILCニュース発行開始
	8月 <ul style="list-style-type: none"> 8/6 藤野遥香氏へ市民栄誉賞授与 8/7 国道284号線真滝バイパス開通 8/29 一関・奥州・平泉・金ケ崎の県南4市町において原付ナンバーを新デザインで統一する方針であることを発表
	9月 <ul style="list-style-type: none"> 9/11 野生キノコ出荷自粛 9/16 大原先陣行列18年ぶりに開催 9/18 今年産米の放射性物質検査開始 9/23 狛鼻溪の舟下り 乗船100万人達成
	10月 <ul style="list-style-type: none"> 公園、広場の除染作業開始 千厩地域浄水場建設に着手 10/13 八木澤商店大原工場竣工 10/19 第24回忠臣蔵サミット開催 10/20 第1回中東北ご当地もちサミット2012in一関、一関・平泉パルーンフェスティバル2012開催
	11月 <ul style="list-style-type: none"> 全避難所に発電設備配備 汚染牧草、共同一時保管へ 11/8 一関地域市街地活性化施設の愛称が「なのはなプラザ」に決定
	12月 <ul style="list-style-type: none"> ILC関連地質調査開始 公園除染に着手 12/13 一関商工会議所、藤沢商工会合併調印式開催 12/26 賠償請求で東電が回答書
H25年	1月 <ul style="list-style-type: none"> 1/16 一関北消防署完成 1/17 フジコー一関工場完成（東工業団地）
	2月 <ul style="list-style-type: none"> 2/3 第6回全国わんこもち大会開催 2/4 なのはなプラザロゴマーク決定 2/6 産直施設等に対する東京電力損害賠償説明会開催 2/7 東北ILC推進協議会メンバー市内視察 2/9 安倍首相にILC計画概要を説明 2/11 大原水かけ祭り開催 2/20 毎年3/11を「となりきんじょ防災会議の日」として制定 ILCニュース英語版発行開始 H25～27総合計画実施計画決定 しいたけ生産者の7割が再開を断念
	3月 <ul style="list-style-type: none"> 観光振興計画策定 社会体育施設の除染工事開始 藤沢病院に放射線健康影響対策アドバイザーが就任 ILC政策推進監を配置 一関市成人式が全国成人式大賞の奨励賞を受賞 千厩給食センター完成 3/7、8 原木シイタケ生産支援策説明会開催 3/11 一関市、平泉町、一関測量設計業協会、県建築士会一関支部・千厩支部の2市町3団体が災害時における応急対策業務に関する協定締結 3/27 東北市長会等7団体が関係大臣及び国会議員に対しILC誘致に関する要望実施 3/31 東日本大震災災害対策本部廃止 東北新幹線はやぶさ、新型こまち運行開始

年月	主な出来事
H25年	4月 <ul style="list-style-type: none"> ・市街地活性化センター「なのはなプラザ」グランドオープン ・いわてモバイルメールを利用したの情報発信拡大（市内8地域別に配信開始） ・山目館地区宅地崩落対策事業造成完了し、引き渡しへ ・H25年度 道路、簡水などの整備等に市独自の経済対策実施を表明 ・住宅や事業所などの放射線量測定着手 ・I L Cピンバッジ作成 ・いちのせきファンクラブ事業開始 ・4/3 曾慶保育園、大東児童クラブ開所式 ・4/6 骨寺村荘園交流館展示棟オープン ・4/10～15 C E R N視察 ・4/10 川崎児童クラブ開所式 ・4/13 一ノ関駅開業123周年イベント開催 ・4/15 千厩給食センター開所式 ・4/22 出荷制限の山菜5品自家用限定でセシウム濃度測定受付開始 ・4/20 一関北消防署の新庁舎落成式 ・4/21 ヴィヴァーレー関東北フットサルリーグプレ大会準優勝 ・4/22 原付バイク等オリジナル「平泉」ナンバーのデザイン発表 ・4/26 東北I L C推進協議会総会にて、I L Cを北上高地に誘致を求める決議を採択 ・4/28 第40回一関市民マラソン大会開催 ・4/29 F Mあすも開局1周年
	5月 <ul style="list-style-type: none"> ・一関公共職業安定所管内 平成24年度高卒者就職内定率2年連続100%達成（H25.5月末現在） ・市広報地域版発行開始 ・磐井病院跡地に移転整備する一関保健センター実施計画策定 ・移住定住サイト「あばいん一関」開設 ・全国広報コンクール企画部門に初入選 ・H25年度分須川牧場、室根高原牧野除染開始 ・学校緊急相互連絡システムの導入を発表 ・5/4 東北中学校選抜ソフトボール大会にて藤沢中学校女子ソフトボール部が12年ぶり2度目の優勝 ・5/7 4歳から15歳の内部被ばく調査結果公表（悪影響無し） ・5/10～ 移動市長室開始 ・5/28 東京電力損害賠償説明会 ・5/29 自民党大島氏に対しI L C誘致など要望 ・5/29 I L C講演通算100回を突破（藤沢町縄文ホール）
	6月 <ul style="list-style-type: none"> ・6/4 県内の関係団体により「世界遺産平泉の日を実現させる会」設立 ・6/6 平泉ナンバー導入 県に要望書提出 ・6/9 素粒子物理の研究者20名が視察に来訪 ・6/15 岩手・宮城内陸地震から5年復興イベント（ウォークラリー）開催
	7月 <ul style="list-style-type: none"> ・7/1 「平泉」ご当地原付ナンバープレートの交付開始 ・7/4 天皇、皇后両陛下が岩手訪問、当市にもお立ち寄り（後方支援について説明） ・7/8 いちのせき若者サポートステーションがなのはなプラザ内にオープン ・7/23 平泉との定住自立圏構想、中心市宣言 ・7/26からの大雨災害により市内で甚大な被害 ・7/27 バルーン「黄金の國 一関・平泉号」が完成し、安全祈願を実施 ・室根高原牧野にて2年ぶりに放牧再開
	8月 <ul style="list-style-type: none"> ・8/2 平泉ナンバー導入決定、平成26年度中導入開始（国土交通大臣発表） ・8/23 I L C国内候補地として北上高地決定 ・8/26 I L C推進室設置
	9月 <ul style="list-style-type: none"> ・9/1 防災行政無線システム運用開始 ・9/12 メガソーラー立地調印（相手：リニューアブルジャパン 場所：東山町） ・9/20 一関・東磐井両森林組合合併決定 ・9/24 三陸ジオパーク認定 ・9/14 花泉図書館オープン
	10月 <ul style="list-style-type: none"> ・10/7 J Aいわて南、J Aいわい東合併調印 ・10/12 一関・平泉バルーンフェスティバル開催 ・10/17 LCCメンバーI L C建設候補地北上山地視察 ・10/19 全国ご当地もちサミット2013in一関開催 ・10/24 ホットスポット除染行政区長懇談会開始（～11/13まで） ・10/25 一関・平泉定住自立圏形成協定締結 ・在仙一関サポーター創設 ・利用自粛牧草ペレット化本格稼働開始 ・なのはなプラザ開館半年で22万人超の利用
	11月 <ul style="list-style-type: none"> ・11/5 ごみ処理に係る広域化基本構想策定 ・11/5 道路側溝土砂調査結果公表 ・11/9 移住定住施策いちのせき暮らし体験ツアー初開催 ・11/13 国道284号室根バイパス着工（安全祈願祭） ・一関遊水地緑地公園人工芝化工事着手 ・ホットスポットの自治会主導による除染作業開始
	12月 <ul style="list-style-type: none"> ・12/1 F Mあすも及びI C Nと災害時緊急放送協定締結 ・12/3 I L C庁内連絡会議を設置 ・12/3 株式会社ディワークス立地決定 ・12/3 「ご当地もちサミット実行委員会」がフード・アクション・ニッポンアワード2013食文化賞受賞 ・12/4 地デジ放送難視聴解消へ東北通信局長へ要望 ・12/9 I L C庁内連絡会議初会合 ・12/13 施設栽培原木シイタケの出荷自粛解除

年月	主な出来事
1月	<ul style="list-style-type: none"> 1/6 新・一関地方森林組合発足 1/8 使用済み小型家電回収事業開始 1/15 一関市成人式開催 (1,291人) 1/23 原発事故に対するADR仲介申し立て 1/23 地域防災計画の修正 (原子力災害対策を盛り込む。) 放射放射性物質検査前的大豆が流通
2月	<ul style="list-style-type: none"> 2/3-4 ILCコミュニケーターが市内視察 2/4 牧草の追加焼却了承 2/6 放射線健康影響調査565人が申し込み 2/24 ILC研究会設立 2/24 「人・農地プラン」策定 2/14-15 一関地球温暖化対策地域協議会が低炭素杯で特別賞受賞 2/20ホットスポット除染期間延長 新一関図書館完成 ILCアドバイザー配置を決定
3月	<ul style="list-style-type: none"> 3/1 JAIいわて平泉が新生 市内初のメガソーラーが完成 3/5 ILC誘致・学術研究都市づくり調査特別委員会設置決定 3/9 市博物館フォーラム「地域の宝を守る・災害と歴史資料」開催 一関地区広域行政組合が汚染廃棄物焼却施設建設を計画 成人式大賞5年連続入賞 3/28 一関・平泉定住自立圏共生ビジョン決定 3/28 大東・大原バイパス全線開通 TV会議システム構築 3/20 除染実施計画期間1年延長を決定 大東病院復旧工事完了 一関駅にILCジオラマ設置
4月	<ul style="list-style-type: none"> 新生大東中学校開校 新生東山小学校開校 東山中学校新校舎完成 室根山天文台オープン 市と一関観光協会のHPを統合「いちのせき観光NAVI いち旅！」としてリニューアル 災害時の職員OB活用 県内初「災害対策支援員制度」創設へ 計5ヵ所での放射能汚染廃棄物仮設焼却施設の説明を終えるが反対の声相次ぐ
5月	<ul style="list-style-type: none"> 側溝土砂置き住民説明会 反対意見続出で中断 「広報いちのせき」が全国広報コンクール市部門1席、企画入賞のダブル受賞 5/18 千厩と気仙沼が合同で街道祭りを開催 5/30 原木シイタケ生産再開を促す説明会を開催 5/30 市職員OB31名に市災害対策支援員登録証を交付 5/30 なのはなプラザ入館者数50万人を突破
6月	<ul style="list-style-type: none"> ILC誘致実現に向けて映像を制作 6/22 新ごみ焼却施設などの建設に真滝5区が反対決議
7月	<ul style="list-style-type: none"> 7/1 市防災行政情報システム運用開始 7/1-7 国際姉妹都市オーストラリア・セントラルハインズ市の高校生らが一関市訪問 新笹ノ田トンネルを実現させる会発足 7/24 新一関図書館オープン 7/29 「いちのせきサイエンスカフェ」始動 7/29 「いちのせき企業応援講座」開講 FM中継局増設・必要世帯への屋外、屋内アンテナ設置で難聴対策が完了
8月	<ul style="list-style-type: none"> 次期総合計画基本構想策定に係る「わたしたちの一関の未来づくりワークショップ」開催 一関一高の家庭クラブが全国高校家庭クラブ研究発表大会で最高賞の文部科学大臣賞を受賞 8/20 大東中学生徒による「ILCの波及効果で元気な様子の3世代」の看板完成 8/24 一関高専が全国高専体育大会野球競技で初優勝
9月	<ul style="list-style-type: none"> 9/4-6 ILC関連国際会議開催 災害公営住宅 (山目字沢内) 建設調査事業着手 新笹ノ田トンネルの実現を求める署名5万人達成 (67,982人)
10月	<ul style="list-style-type: none"> 10/1 市とヤフーが災害時の情報発信協定を締結 10/3 川崎町に上巻浄水場が完成 10/15-17 ペレット化した利用自粛牧草の実証焼却を実施 10/19 全国高専プロコン 一関チームが入賞 ILC専用HPを開設 10/18、25 市次期総合計画タウンミーティング開催
11月	<ul style="list-style-type: none"> 11/10 「資源・エネルギー循環型まちづくり推進本部」を設置 11/17 「平泉」「盛岡」ナンバー交付開始 11/21 大東町民生児童委員協議会が厚生労働大臣表彰受賞 安全点検、見守り継続で 11/27 ユネスコ無形文化遺産に「和紙」登録決定
12月	<ul style="list-style-type: none"> 大東学校給食センターが地産地消給食等メニューコンテストで東北農政局長賞受賞 12/15一関北消防署東山分署完成 新庁舎での業務開始 国連防災会議 当市で「世界遺産平泉における防災」をテーマにしたシンポジウム開催決定 12/20 全国高校駅伝 一関学院高校が20年連続出場 ILCイラストパネルを作成 本庁と各支所に配置 12/25 新笹ノ田トンネルの事業化 県に要望書及び署名簿提出 (91,192人の署名)

年月	主な出来事
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・「につぼんの温泉100選」で一関温泉郷が54位、須川温泉が88位にランクイン ・1/13 ILC計画を推進する国際組織LCCの代表らが一関を視察 ・1/15 広報紙県市町村コンクール当市が第1位表彰 ・大武・ルート工業(萩荘)が「マイクロネジ供給機」を開発 1ミリ未満のネジを供給できる機械は世界初 ・1/22 一関市、一関商工会議所、気仙地方の3市町3商工団体の8団体が新笹ノ田トンネル早期事業化を国に 9万1492人分の署名とともに要望
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・一関地区広域行政組合の使用済み小型家電回収ボックスの利用状況が1年で約10トンに ・2/3 一関市と市内食品関連会社が災害協定 ・2/5 県が一関市産施設栽培原木生シイタケの放射性物質が不検出であったことを発表 ・2/6 側溝土砂の地域内一時保管、市内で初めて川崎町門崎地域で実施 ・2/12 汚染牧草1,907トン分ペレット化完了 ・2/18 一関市まち・ひと・しごと創生本部を設置 ・大東清掃センターで処理能力を上回りごみ焼却を実施 ・岩手・宮城内陸地震に伴う土砂災害復旧防災工事が完了
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・黄海スーパーキッズ、涌津スポーツ少年団が全国小学校ソフトボール大会へ出場 ・災害情報ブログ開設 ・3/16 移住・交流セミナー初開催 ・3/17 国連防災世界会議の岩手県シンポジウムを一関で開催 ・全国成人式大賞で準大賞を受賞
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・4/1 一関市内全公民館が市民センターに移行 ・新保健センターオープン ・4/4 シイタケ産地再生へ向けて、震災後初の植菌作業 ・4/6 国際医療福祉専門学校一関校は、今年度から理学療法学科を新設 ・4/13 シイタケ原木の生産者のうち計26人の出荷制限が解除されたと発表 ・4/18 JR一関駅で開業125周年のイベントを開催 ・4/19 第9回チェリーロードまつりを開催。磐井川の堤防桜は今年伐採するため、次回以降は休止 ・4/19 一関市の災害公営住宅建設工事が着工される。入居開始は来春の予定 ・4/22 ILCの計画の意義などについて専門家が意見を交わすシンポジウムを東大で開催 ・4/23 海外の素粒子物理研究所の広報担当者が、一関市などILCの建設候補地を視察 ・4/25 東京都新宿中央公園で開かれた、ブランド和牛の公式祭「大牛肉博」に、一関地方の「いわて南牛」が参加。 ・4/27 一関・登米・栗原首長懇談会を開催
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・5/11 一関市の広報いちのせき「I-Style」が全国広告コンクールにて、広報誌の市部で入選 ・5/13 宮城県沖M6.8の地震発生。一関市では震度5弱を観測 ・5/20 一関・千厩に建設されていた2か所の太陽光発電施設の竣工式開催 ・5/29 中東北ふるさと就職ガイダンスIN一関として、一関大町のなのはなプラザで開催 ・5/30 一関市民がまちづくりについて意見、提言する「市まち・ひと・しごとを語る会」の初会合が市役所で開催
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・6/8 国際リニアコライダーを含めた加速器関連産業への本件企業参入に向けた産学官の交流・連携組織「いわて加速器関連産業研究会」が発足。盛岡市内のホテルで総会 ・2015年度第1回一関市総合計画審議会が開催 ・6/11 回収金属で五輪メダルに再利用するよう提案した共同文書を、大会組織委員会に提出 ・6/13 小学生ソフトボール大会にて、花泉涌津が初優勝、全国大会へ進出 ・市議会、東電に賠償申し入れ（シイタケや財物、除染困難な牧草地や汚染土砂処理等、損害賠償を求めた）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・一関市千厩町の旧磐清水村に出されていた大豆の出荷制限指示が解除されたと発表した（これで、県内の大豆出荷制限指示区域がなくなった。） ・7/13 川崎支所新庁舎開庁 ・7/21 一関市祝い餅つき振る舞い隊がイタリアのミラノで開催のイベント内でパフォーマンス ・7/30 一関市市街地活性化施設「なのはなプラザ」の入館者100万人達成
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・8/17 大相撲一関場所開催。21年ぶり。 ・8/24 一関市南町で、除去した放射線物質を含む側溝土砂の埋設作業が、一関地域で初めて行われた。 ・8/25 一関修紅2年吉田真理子さんがフラワーアレンジメントコンテストで最高賞の金賞に輝き、全国大会出場を決めた。同校からはこれまでも上位入賞はあったが、金賞は初めて。 ・8/29 骨寺村荘園交流館（若神子亭）の来館者数が10万人に達した。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・8/5 県スポ少ソフトボール大会で涌津が2年連続で優勝 ・9/10 台風第18号と全線の影響で、関東から東北地方にかけて大雨をもたらした。栃木県、茨城県にて大雨特別警報を発令。各地で甚大な被害をもたらした。 ・9/11 台風18号などの影響で、東北地方は各地で記録的な大雨 ・9/12 一関市大東町は、2015だいたいうちくさんしいたけフェスティバルを開催 原発事故の影響で4年ぶりとなる原木シイタケを限定で販売 ・一関市が狐禅寺地区に農林業系放射能汚染廃棄物焼却施設、最終処分場などの建設を検討していることを受け、同地区の住民団体「狐禅寺の自然環境を守る会」が市と同広域組合に公開質問状を提出 ・9/25 一関市は、藤沢地域で育てられてきた縄文ハスを平泉町に贈った。 ・9/26 奥州市国道397号と一関市342号を結ぶ道路が開通
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・10/10 一関遊水地記念緑地公園に整備した「オーストラリア日本友好公園」の開園 ・10/13 東稲・照井両土地改良区の合併予備契約調印式 ・10/17 県立大東高校の創立90周年記念式典 ・一関青年会議所創立60周年記念式典 ・磐井川堤防の桜、40本伐採開始 ・10/21 一関学院が全国高校駅伝競走大会県予選会で圧倒的21連覇を達成 ・10/23 一関市内の一関保健センター跡地に整備した市宮城内駐車場が完成 ・10/24 キャスター付き事務椅子をマシンに商店街を疾走する「いすー1GP一関大会」（いちのせき商業まつり実行委員会主催）が大町の特設コースで開催

年月	主な出来事
H27年	11月 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/5 県立千厩高等技術専門学校自動車システム科1年の望月さんが、2015年度県若年者技能競技会で金賞同校の金賞受賞は13年度に続いて2回目。 ・ 11/23 一関神輿（みこし）連合会結成30周年記念式典開催
	12月 <ul style="list-style-type: none"> ・ 12/1 一関ケーブルネットワークの「いちのせき光テレビ」のサービスが本格スタート ・ 12/5 安倍総理が一関市内の企業（八木澤商店、醤油製造）を視察、従業員を激励 ・ 12/12 栗原市・一関市・登米市首長懇談会が栗原市のエポカ21を会場に開催 ・ 一関市の野生セリの出荷制限指示が解除 ・ 12/25 花泉藤沢両地域で進められていた大規模太陽光発電所が完成 ・ 12/27 今年で三回目となる「いちのせき第九演奏会」開催
H28年	1月 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所1階の市民課に税関係証明等の一部窓口業務を集約し、新たに自動発券機と自動窓口受付機を導入 ・ 1/25 市内33カ所に無料で利用できる公衆無線LAN（Wi-Fi）アクセスポイントの利用スタート
	2月 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2/1一関消防署藤沢分署完成 新庁舎で業務開始